

教科	国語（小）
----	-------

主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント

(1) ポイント1 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業の展開

「言葉に着目する」「言葉を吟味する」授業を展開する。言葉を根拠に、言葉に寄り添った「考えの形成」、
「共有」につなげていく。

(2) ポイント2 「考えの形成」の練り上げ

新学習指導要領から、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の3領域全ての学習過程に
「考えの形成」が設定されることとなった。児童が理解したり表現したりした言葉を、論理的思考の側面、感
性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面からどのように捉えたのかを問い直して、理解し直した
り表現し直したりしながら思いや考えを深めることが、「深い学び」の実現につながっていく。

(3) ポイント3 「共有」できる場面の設定

「考えの形成」同様、3領域全ての学習過程に「共有」が設定された。これまでの学習過程に位置付けられ
ていた「交流」が「共有」に置き換えられた意図にも目を向けたい。各自が意見を述べ合うだけの形骸化した
話し合い活動からの脱却を図り、他者の考えをしっかりと捉え、思考を深めたり活性化させたりすることができ
る「共有」の場の設定が、「深い学び」の実現につながっていく。

教科	国語（中）
----	-------

主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント

(1) ポイント1 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業の展開

「言葉に着目する」「言葉を吟味する」授業を展開する。言葉を根拠に、言葉に寄り添った「考えの形成」、
「共有」につなげていく。

(2) ポイント2 「考えの形成」の練り上げ

新学習指導要領から、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の3領域全ての学習過程に
「考えの形成」が設定されることとなった。生徒が理解したり表現したりした言葉を、論理的思考の側面、感
性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面からどのように捉えたのかを問い直して、理解し直した
り表現し直したりしながら思いや考えを深めることが、「深い学び」の実現につながっていく。

(3) ポイント3 「共有」できる場面の設定

「考えの形成」同様、3領域全ての学習過程に「共有」が設定された。これまでの学習過程に位置付けられ
ていた「交流」が「共有」に置き換えられた意図にも目を向けたい。各自が意見を述べ合うだけの形骸化した
話し合い活動からの脱却を図り、他者の考えをしっかりと捉え、思考を深めたり活性化させたりすることができ
る「共有」の場の設定が、「深い学び」の実現につながっていく。

「深い学び」を具現する授業デザイン例 国語（中）

学習指導要領における領域・内容

指導主事による5分間授業動画
<https://youtu.be/NZoB8HEBvTU>



中学校〔第2学年〕C 読むこと

(1) オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

本時のねらい

『枕草子』の「うつくしきもの」を読み、清少納言のものの方や考え方について、現代に生きる自分のものの方や考え方と比べながら、考えたことをまとめることができる。

授業デザイン例

学習者の視点

授業者の視点

家の子猫、くまモン、マカロン・・・

Aさん



ものだけでなく、動きや様子なども入るから、赤ちゃんが食べながら寝入る様子もかわいいな。

Bさん



現代語訳

かわいらしいもの。瓜にかきたるらこの顔。幼児の顔。雀の子が、ねずみの鳴きまねをして呼ぶと、踊るようにやって来る様子。二、三歳ほどの幼児が、急いではつてくる途中に、とても小さいこみがあったのを目ざとく見つけて、愛らしい指でつかんで、大人たちに見せている様子はとてもかわいらしい。髪はあまそぎにしている幼女が、目に髪がかかっているのをかき払わずに、顔を傾けて物などを見ているのも、かわいらしい。

うつくしきもの。瓜にかきたるらこの顔。雀の子のねずみ鳴きするにをどり来る。二つ三つばかりなるらこの、いそぎで這ひ来る道に、いと小さき座のありけるを、目ざとに見つけて、いとをかしげなる指にとらへて、大人こに見せたる、いとうつくし。頭はあまそぎなるらこの、目に髪のおほへるを、かきはやられて、うらかたぶきて物など見たるも、うつくし。

（聖徳太子）

清少納言の「かわいい」は、辞書の説明にあるように、幼いものや、小さいものや、愛らしいしぐさだと言えるね。現代の僕でも、かわいいと思うよ。「かわいい」の捉えは変わらないんじゃないかな。



そうだね、Aさんが言っていた子猫やマカロンも小さい愛らしいよね。Bさんの言う「赤ちゃんが食べながら寝入る様子」は動画で見たことある。あの様子、かわいいよね。

Aさんの言っているくまモンはどうだろう？私もかわいいと思うけど、清少納言の頃はくまモンいないよね。今って、キャラクターはいろいろいるし、たくさんかわいいのがあるよ。これは、今風の感覚かな？

小さいものや幼いものって、いつの時代でもかわいいと言えそうだよ。でも、愛らしいものは捉え方によって広がりそうじゃない？キモかわとかブサかわとか言うしね。キャラクターにはそういうのあるよね。

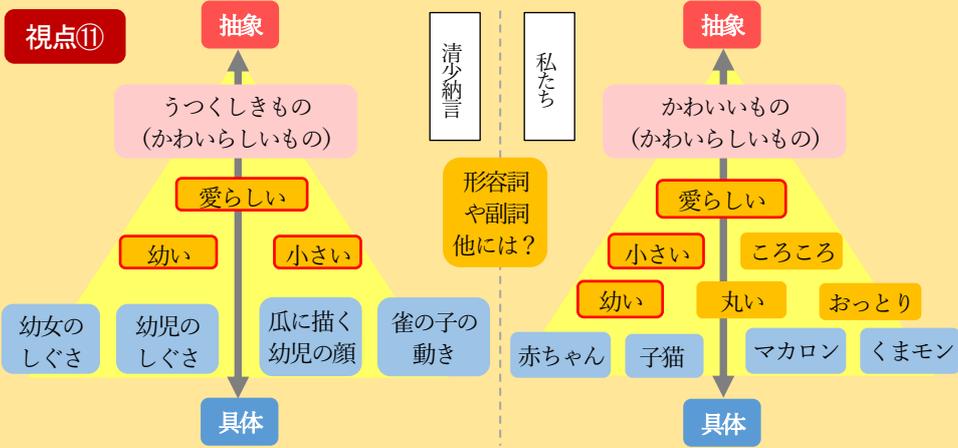
みんなが考える「かわいい」ベスト5は何か？

清少納言はどのようなものをかわいらしいと考えていたのかな？

清少納言と私の「かわいい」の見方、感じ方は違うのだろうか？清少納言と私たちを比較しよう。

比較した共通点や相違点を「具体と抽象の思考法」で整理し、気がついたことや考えたことをノートにまとめよう。

視点 I



「うつくしきもの」を読んでまず思ったのは、清少納言は、幼児の顔やしぐさなど、幼い子どもに可愛らしさを強く感じていることだ。幼いものや小さいものが愛らしいのは、きつといつの時代も変わらないものだと思う。今回話し合っ中で、キャラクターの話になった。愛らしさについては人によって感じ方が違うし時代によって変わると思う。具体と抽象の思考法で整理したことで、今の世の中は、清少納言の頃よりも「かわいい」の性質を表す言葉が増えていると感じた。形容詞や副詞の言葉で分析することで、いろいろな性質で捉えることができたので、同じように他の段も読み進めてみたい。

（生徒のノートより）

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

□ 光村図書の教科書にある「思考の地図」から、思考を深めるための「具体と抽象の思考法」を活用することで、清少納言が『枕草子』で取り上げている抽象概念「うつくしきもの」等の性質について具体物をもとに整理することができる。現代の私たちが考える「かわいい」も合わせて整理し、『枕草子』と比較することで、自分の知識や経験を踏まえて、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（視点 I→視点①）